

取扱説明書

雪や氷をガッチリキヤッチ!

かんたん君 ワンタッチチェーン



はじめに

この取扱説明書は、ワンタッチラダーチェーン「かんたん君軽トラ」を正しくご使用いただくために、かんたん君軽トラの特徴と取扱方法を説明したものです。

既に類似の製品をご使用になられた経験をお持ちの方を含めて、ご使用になる前に必ずお読み下さい。お読みになった後は、製品とともに保管し、ご使用中にわからないことや具合の悪いことが起きたとき読み返して下さい。本製品を譲られる場合は、次に使用される方のために本取扱説明書も併せてお渡し下さい。また、本取扱説明書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、販売店もしくは、当社までお問い合わせ下さい。

▲チェーンを装着している時は、非舗装道路(段差、縁石、砂利道、わだち、オフロード等)を走行しないで下さい。

●チェーンが切れたり、外れたりし、コントロールを失って、死傷事故や物損事故を引き起こす恐れがあります。又、タイヤトレッド面にチェーンが食い込みタイヤ自体を損傷する恐れがありますので十分注意して下さい。

▲ABS装着車は万能ではありません。

●ABS(アンチロックブレーキシステム)は急ブレーキ時にタイヤロックを防止し、制動力及び車体姿勢を制御する装置ですが、雪道などではABSの付いていない車に比べて制動距離が長くなる事がありますので特に注意して下さい。

▲急激な運転操作や異音が発生した場合、停止して装着状態を確認して下さい。

●異常が考えられる場合は安全な場所まで徐行し、チェーンの状態を確認して下さい。装着状態に異常が考えられる場合は再度付け直し、チェーンが切れた場合、必要な応急修理を行い、別の箇所にも異常がないかの確認を行って下さい。(応急修理参照)
●応急修理が不可能な場合や、別の箇所が使用限度を超えている場合は使用を中止して下さい。

▲駐車時は必ず輪止め等で動かないように処置して下さい。

●降雪状況下ではサイドブレーキを使用しますと凍結により解除出来なくなる恐れがあります。

ご使用になる前に

この製品は雪路で自動車のタイヤへ取り付け使用する補助具です。製品のご使用方法や自動車の運転方法によっては、ご使用になる方や他の方々への死傷事故や物損事故を引き起こす恐れがあります。本書ではそのような損傷を防止する為警告△注意の事柄を説明していますが、本書に記載してある事柄に関わらず、より一層の安全運転を行う必要があります。又、当製品をご購入後直ちに内容物の確認をして下さい。製品のご使用後における付属品不足や、チェーン本体の製品異常等のクレームにはお受けできかねる場合があります。

安全上の注意 ご使用の前に、この取扱説明書をよく読んで、指示に従い正しくご使用下さい。

警告 誤った取扱いをすると、人が死亡又は損傷を負う可能性が想定される内容を示します。

◆タイヤチェーンは消耗品です。

●タイヤチェーンは消耗品であり、正しい装着／走行をされた状態でも徐々に磨耗し、使用限度を超えれば切断します。雪道の中でタイヤチェーンが消耗等で切断してしまいますと、場合によってはロードサービスを利用しなければ脱出できない状況も推測されます。万に備えて予備のタイヤチェーンをお買い求めいただくことをお勧めします。

◆本製品は軽トラック(軽キャブオーバー含む)専用です。

●普通乗用車、軽乗用車には使用出来ません。

◆時速30km以下で走行して下さい。

●時速30kmを超えて走行されますとチェーンが遠心力で膨らみ、車体と接触する恐れがあると共に耐久性を著しく低下させ、早期破損の原因となり車両事故等につながる恐れがあります。



▲ホイールキャップは取り外してから装着して下さい。

●走行時はタイヤチェーンの回転移動によりホイールキャップに傷が付く恐れがあります。また、アルミホイール装着車の場合タイヤとホイールの形状によってはホイールやタイヤサイド面に傷の付く恐れがあります。

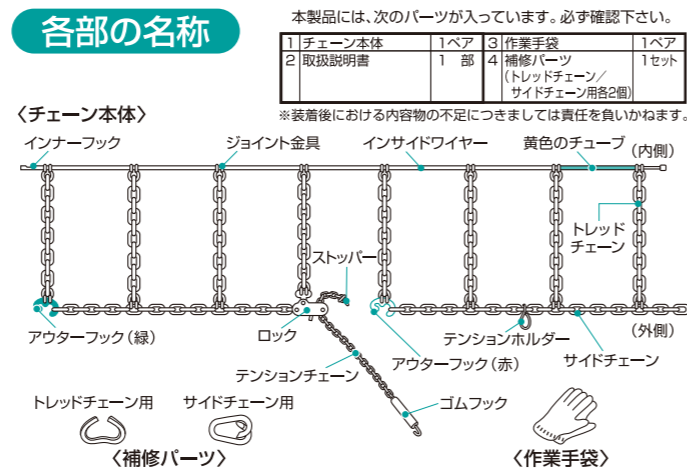
▲スノーヘルパー(雪道脱出具)との併用はお避け下さい。

●金属製、樹脂製(一部金属滑り止め付き)にかかわらずチェーンを装着しての併用はチェーンの破損及び車体への損傷を引き起こす恐れがあります。

▲本製品をご使用して頂くとタイヤ表面が変形・削れ等の破損が起きる場合があります。

●特にタイヤの溝が極度に減っている車にはご使用しないで下さい。

各部の名称



◆空転は絶対にさせないで下さい。

●空転(タイヤの空回り)を行うとチェーンに無理な力がかかり、破損の原因となります。このような場合、一旦アクセルを緩め、再度ゆっくりと操作して下さい。

◆急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルは危険です。

●やむをえずこのような運転操作を行った場合は、安全な場所に停止してチェーンの状態を確認して下さい。又、急な操作を行いますと車体への接触、異常摩耗等により早期破損の原因となり車両事故等につながる恐れがあります。

◆取り付け、取り外しは安全な場所で行って下さい。

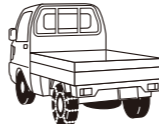
●坂道、路肩(一般/高速道路)等での作業は事故の原因となり大変危険です。作業は安全が確保できる平坦な所やチェーン脱着所で行って下さい。

◆増し締めは、必ず(何度でも)実行して下さい。

●装着がゆるかったり、チェーンにたるみがあるまま走行されますと、チェーンが路面にたたかれて早期摩耗につながったり、フェンダー内で接触や切断が起こり、事故等を引き起こす恐れがあります。その為、増し締めはチェーンのたるみが無くなるまで何度でも実行して下さい。

◆異種チェーンや片輪のみの装着は行わないで下さい。

●走行中に自動車がコントロールを失い死傷事故や物損事故を引き起こす恐れがあります。

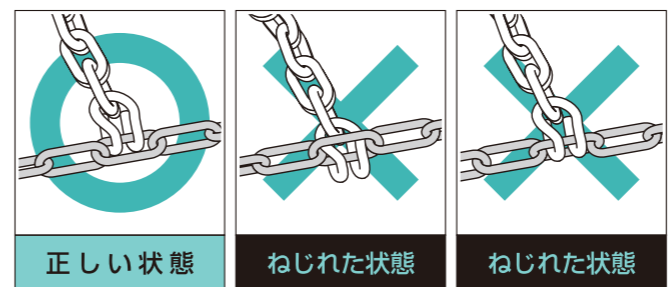


装着方法

初めて使用になるときは、事前にテスト装着を行って下さい。装着方法の確認と練習の為、事前に取り付け、取り外しを行って下さい。

《装着の前に次の点に注意して下さい。》

- スパイクタイヤ、オフロード専用タイヤには装着出来ません。
- 車はパーキングブレーキをかけ、MT車ではシフトレバーをニュートラルに入れ、オートマチック車では、セレクトレバーをP位置に入れ、エンジンを停止させます。
- チェーンは必ず駆動輪(F F車は前輪、F R車は後輪、4WD車は各車の取扱説明書を確認)に装着して下さい。
- 装着前にチェーンを路面に並べてねじれが無いが必ず確認して下さい。ねじれたままで装着しますと正しい使用状況下でもチェーンの早期破損の原因となります。



※イラストは装着時、路面に置いた状態です。

◆フックやロックが全て確実に装着してあることを確認して下さい。

●装着が不完全なままで走行すると十分な性能を発揮しないばかりか、チェーン破損や死傷事故や物損事故を引き起こす恐れがあります。

◆チェーンの装着が前輪の場合と後輪の場合で走行の特性が大きく変わります。

●前輪に装着：雪路の下り坂では急ブレーキや急ハンドルによって後輪が滑り出すことがあります。
●後輪に装着：前輪にチェーンを装着していない為、ブレーキやハンドルの効きが悪く急発進時には後輪が左右に振られる恐れがあります。

◆雪がなくなったら、出来る限り速やかにチェーンを取り外して下さい。

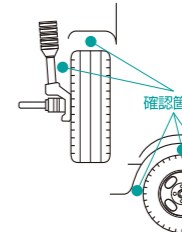
●無雪路ではチェーンが破損し易いだけでなく、車両の走行性能が極端に低下し死傷事故や物損事故を引き起こす恐れがあります。



注意 誤った取扱いをすると、人が損傷を負ったり物的損傷の発生が想定される内容を示します。

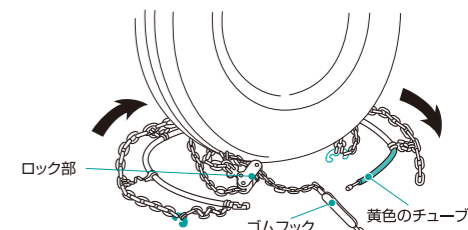
▲タイヤと車体との間隔が3cm以上ないと装着出来ません。

●走行中にチェーンが車体と接触し、チェーン破損や事故の恐れがありますので、あらかじめ間隔を調べる必要があります。又、純正以外のタイヤ/ホイールやタイヤ周辺に純正以外の部品を使用されている場合には特に注意し、間隔を調べて下さい。尚、前輪に装着する場合には、ハンドルを左右いっぱい切った状態でも確認が必要です。

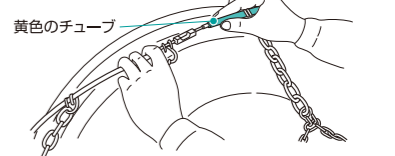


《装着手順》

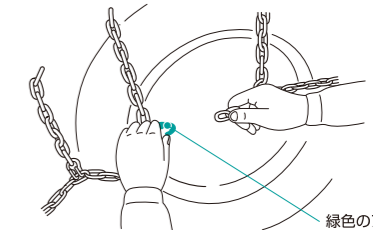
- ①チェーンを路面に並べてねじれや絡まりが無いが必ず確認して下さい。
- ②チェーンを図の様にタイヤの裏側を通します。(黄色いチューブを左から右側に通す。)通した際、ロック部がタイヤの左側に出る様にして下さい。



- ③インサイドワイヤーの端と端をタイヤの上まで持ち上げて、インナーフックを接続します。(この時、黄色いチューブが右手に来ます。)



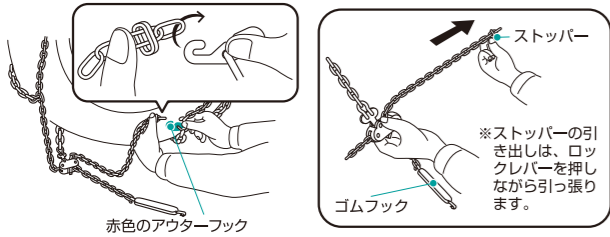
- ④緑色のアウターフックをサイドチェーンと接続します。(この時、緑色のアウターフックが左手に来ます。)



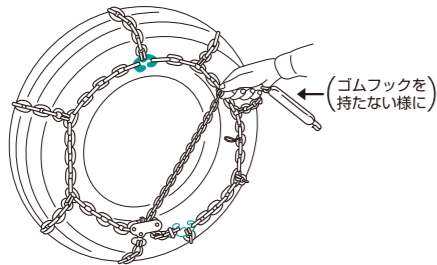
⑤チェーンが均等になる様に、チェーン上部を内側へずらし、全体を十分に手前へ引き出します。



⑥テンションチェーン先のストッパーを、下側の赤色のアウトターフックに接続します。(あらかじめストッパー側をロック部より引き出して置いて下さい。)

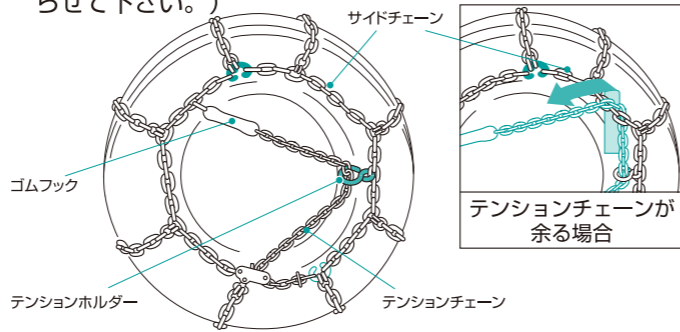


⑦テンションチェーンの根元を持ち、十分に引っ張ってチェーンを締めます。この時、チェーンを引き出しながら、強く締めます。タイヤを半回転させ、さらに締めます。



9

⑧図の様にテンションチェーンをテンションホルダーに通し、ゴムフックをサイドチェーンに掛けます。(タイヤの種類によっては、テンションホルダーに通らない場合もありますが、この場合は直接サイドチェーンに掛けて下さい。又、テンションチェーンが余る場合は、サイドチェーンにくくらせて下さい。)



《装着後の確認》下記の症状がある場合、取付け直しや修正を行なって下さい。

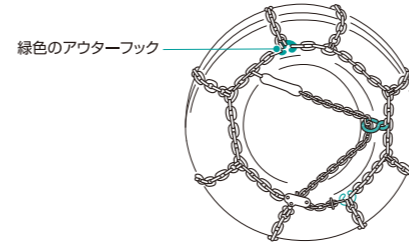
- チェーンは均等に着いているか？
- チェーンにたるんでいる所はないか？
- チェーンがねじれたまま着いている箇所はないか？
- サイドチェーンが走行面近くまでずれていないか？
- 内側インナーフックは確実に接続されているか？
- 各ジョイント部も確実に接続されているか？
- タイヤハウス内に接触はないか？

注) タイヤにチェーンをなじませる為に、装着後必ず徐行運転にて30mほど走行して下さい。走行後チェーンにたるみが確認された場合は、増し締めを行い、フックやロックが全て確実に装着されて、且つ車体に当たっていないか確認して下さい。もし、装着不具合がられた場合、取り外し、再度装着して下さい。

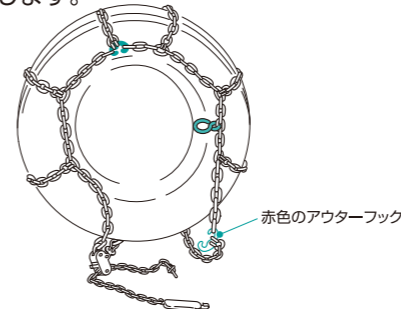
10

取り外し方法

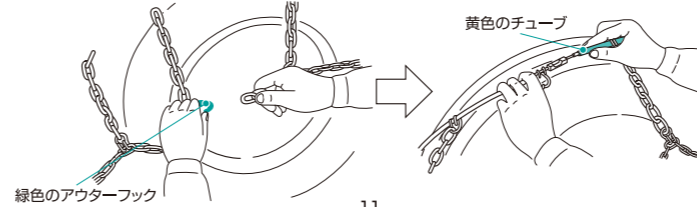
①図の様に緑色のアウトターフックが上側になる所で停車させますと、取り外しが楽になります。



②サイドチェーンからテンションチェーンを外し、ロックレバーを押してロックを解除し、赤色のアウトターフックからストッパーを外します。

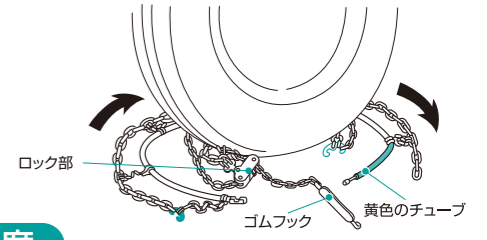


③先に緑色のアウトターフック、次に内側インナーフックの順で外します。



11

④タイヤチェーンが踏まれていなければ、そのままチェーンを抜き取ります。チェーンがタイヤに踏まれていたら、車を移動させて下さい。(その際、各フックをタイヤで踏まないように注意して下さい。)



使用限度

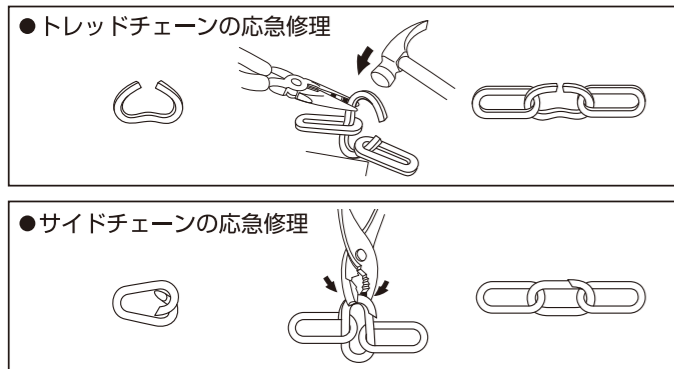
- チェーンの線径が50%以上消耗した場合は使用を中止して下さい。それ以上走行されるとチェーンが走行中に切断し、車両事故等に至る恐れがあります。(チェーンの摩耗を常に確認して下さい。)
- ※タイヤチェーンは消耗品であり、正しい装着/走行をされた状態でも徐々に磨耗し、使用限度を超えれば切断します。雪道の中でタイヤチェーンが消耗等で切断してしまいますと、場合によってはロードサービスを利用しなければ脱出できない状況も推測されます。万が一に備えて予備のタイヤチェーンをお買い求めいただくことをお勧めします。
- ゴムフックの材質はゴムを使用しております。そのため使用、保管状況によっては経年変化により本来の性能が発揮しないばかりか亀裂や破損により事故につながる恐れがあります。使用状況によりですが、ゴムフック部は特に水分を切り、チェーンは風通しが良く温度変化の少ない場所で保管して下さい。

チェーンの保管

使用後は融雪剤や泥などを水洗乾燥後、防錆油等を塗り乾燥した場所に保管して下さい。

12

応急修理



※チェーンが消耗し、切断した際には、図の様な応急修理をしてからご使用下さい。その際、他の箇所も点検し、使用限度を超えている場合は使用を中止して下さい。使用限度を超えて走行されるとチェーンは切断します。

タイヤサイズ適合表

(夏・冬タイヤ共通)

品番	適合タイヤサイズ	
NKT-20	145R12LT-6PR	145R12LT-8PR

- 適合サイズ以外のタイヤサイズにはご使用しないで下さい。
- タイヤサイズの適合に際しては、タイヤの消耗度、空気圧、ホイールのリム幅、タイヤの銘柄などによっても誤差が生じてきますので、その際には販売店にご相談下さい。
- スタッドレスタイヤに関しましても、基本的には適合表と同様になります。(但し、タイヤによっては、多少取り付けが困難な場合もあります。)

13

取付けがうまくいかない場合

現象	考えられる原因	対処の仕方
装着時	内側フックが接続できない	●チェーンの引っ張りか不十分 チェーンの接地部より、接続箇所方向へワイヤーを十分に引き上げる
	外側フックが接続できない	●チェーンがねじれている チェーンを取り外しねじれを修正
時	取付け状態が不均一	●チェーンの引き出し方が不十分 チェーンをタイヤの外側へ強く引き出す
		●チェーンのかけが不均等 チェーンのかけを均等に修正する
		●チェーンがねじれている チェーンを取り外しねじれを修正
		●チェーンの引き出し方が不均一 タイヤを回転させ、タイヤの外側に寄っている箇所は内側に押し戻し、タイヤの内側に寄っている箇所は外側に引き出す(直らない場合は最初からやり直す)
		●チェーンの接地面がずれている

※適合サイズ違いも原因のひとつになりますのでご注意ください。

走行中この様な異常を感じたら

現象	考えられる原因	対処の仕方
走行時	異常音がかかる(接触音)	●適性スピード(30km/h以下)を超えて走行した 適性スピード(30km/h以下)を厳守する
		●クリアランス(空間)が不十分 特に狭いほど、速度を十分に落とす
時	チェーンがはずれる、ずれる、かきれる	●チェーンにたるみがある 増し締めを確実にこなす
		●厳守事項(空転、急ブレーキ、急ハンドル、急発進、急加速)を守らなかった 空転は極力避ける
		●適性スピード(30km/h以下)を超えて走行した 適性スピード(30km/h以下)を厳守する
		●荒れた路面、段差などを無理に走行した 悪路での走行は避ける
		●装着状態が不十分のまま走行した 装着状態を完全にする

チェーンが破損した場合は、直ちに使用を中止して下さい。危険な場合は安全な場所まで徐行(10km/h以下)で移動して処置して下さい。

※適合サイズ違いも原因のひとつになりますのでご注意ください。

雪道走行のポイント

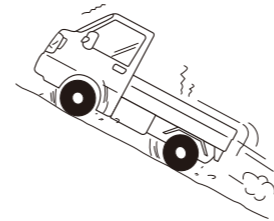
タイヤチェーンの破損は主に「空転」「装着の不備」「30kmを超えた走行」「急ブレーキ」が原因です。無理をせず、チェーンにやさしい運転操作を心がけて使用して下さい。

① 発進



発進はMT車では半クラッチを長めに、AT車ではクリーピング(アクセルを踏まないで動く状態)を使用すると空転せずに安全に発進出来ます。路面状態によっては自分でも気が付かない内に空転している事がありますので十分注意して下さい。

② 坂道



坂道での発進時は、もっとも空転しやすくなります。空転させると本来のチェーン性能が発揮されないばかりか、破損の原因となりますので、平地での発進時と同様にアクセルを踏みすぎない様ゆっくり車を動かし、動きだしたら一定の速度で登坂させて下さい。

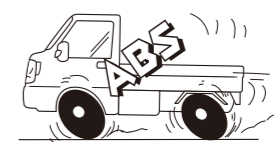
③ 制動(ブレーキ)



雪道では制動力が低下します。チェーンを装着していても車間距離は十分に保って走行して下さい。制動時にはエンジンブレーキを併用し、ペダル操作は慎重にポンピング(踏む→離す)を行い、ブレーキロックは避けて下さい。特にFR車及び後輪にチェーンを装着する4WD車では前輪が大変滑りやすくなります。

15

④ ABS車



ABSは急ブレーキや滑りやすい路面でブレーキを踏んだ時にロックを防止し、制動力及び車体姿勢を維持する装置です。しかし、雪道などではチェーンの装着に関わらずABSの付いていない車に比べて制動距離が長くなる事がありますので特に車間距離や速度に余裕を保った走行を心がけて下さい。

⑤ 悪条件の路面状態



新雪やシャーベット状の路面又は凍結路では引っ掛かりが少なく、タイヤチェーンのスパイク効果が薄れ、大変滑りやすくなります。低い速度で慎重に走行して下さい。

- 製造上の不都合が認められる場合以外の製品や車両の損傷については、一切の補償に応じられません。
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本製品は日本で企画開発され中国で製造しております。

エンプレイスサポートセンター

0570-005-051

平日 10:00~12:00、13:00~17:00
(土日祝祭日、当社の休日を除きます)

販売元：マルエヌ株式会社

16